

## 神鋼環境ソリューション技報の創刊にあたって



株式会社神鋼環境ソリューション

取締役社長 平田 泰章

Yasuaki Hirata

環境の世紀と呼ばれる21世紀。当社は2003年の10月1日、株式会社神鋼環境ソリューションとして、新たな一步を踏み出しました。

神鋼環境ソリューションは、下水道分野と都市ごみ焼却溶融を中心とする廃棄物処理で多くの実績がある神戸製鋼所の環境ビジネス部門と、水処理を中心とした環境装置メーカーとして評価をえてきた神鋼パンテックが事業を統合し、総合環境ソリューション企業として誕生しました。

「地球温暖化対策」を始め、「地球環境の修復」や「循環型社会への転換」などの環境問題への取組みが、人類共通のテーマとなっている今、環境関連ビジネスにおいては、従来の設備・装置の供給ビジネスとは違った形態・分野での取組みが求められています。具体的には、PFI事業、民間による公共設備の維持管理など、新しい形態へのニーズが高まっていることに加え、処理方法においても焼却処理から減容化・マテリアルリサイクル化への動き、新しい分野としては、PCB無害化処理、あるいは、下水汚泥、食品廃棄物、家畜ふん尿のようなバイオマスの利活用など、自然と共生する社会の実現に向けて、様々な事業形態、技術革新が求められています。

このような変化のなかで、当社は総合環境ソリューション企業として、これまで両社が、それぞれ培ってきた確かな技術力とノウハウを融合させ、水処理、廃棄物処理、リサイクルなどの環境関連ビジネス分野やグラスライニング機器など各種プロセス機器分野で、社会の幅広いニーズにお応えしていくことを、目標としております。

お客様におかれましては、あらゆる事業活動において、環境負荷低減が問われているなかで、環境に関するさまざまな「課題」を抱えておられると思います。当社は、お客様の「課題」を一つひとつ解決していくことを通じ、装置などのハードの提供に止まらず、トータルなソリューションをお客様に提供できるように、努力を続けてまいります。

とりわけ、商品の研究開発においては、お客様と「課題」を共有し、先進の技術開発力を駆使してより早く解決策を提供することが、使命であると考えております。お客様にご満足して戴けることを最優先にして、研究開発テーマの集約とスピードアップに取り組みますので、今後とも皆様のご教示・ご鞭撻をお願い致します。

今回、「神鋼環境ソリューション技報」を創刊するにあたり、最新の研究開発テーマに加えて、当社の製品紹介と、コア技術に関する研究開発の概要を掲載しております。新しく船出した当社の現在と今後の進路をご理解して戴く一助になれば幸いに存じます。